

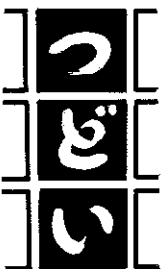
のうち元幹部自衛官の会員数は昨年の367名から393名に増え、総会参加者も昨年を上回る31名となった。

旧陸軍関係会員からの継承も順調に進み、総会の準備・進行は、全ての業務を元幹部自衛官が担当した。

第1部年次総会は大浦誠哉氏陸自60の司会で開始。国旗に対し敬礼、国歌斉唱、戦没者・自衛隊殉職者・物故者に黙祷の後、埼玉偕行会会長齊藤信氏陸自61より、総会当日は、世界のリーダーが集まって議論するサミットがイタリアのタオルミーナにて開催中であり、また南スーダンからPKO部隊の撤収が完了する日でもある。また、最近安倍首相の自衛隊を憲法に明示する等の憲法改正の表明があったこと等を受け、国内外情勢に触れた後、埼玉偕行会の運営が元幹部自衛官に移行している大切な時期であり、元幹部自衛官に対し役員就任、活動参加等、積極的な協力を依頼する旨の挨拶があった。

続いて小林武二事務局長陸自64から、平成28年度の会務・会計報告並びに平成29年度の新役員が紹介され総会は終了した。

第2部記念講演は10時50分から講師東部方面総監監部幕僚長兼朝霞駐屯地司令高田祐一陸将補から「国外情勢と我が国の防衛」と題して約1時間、プロジェクトを活用し豊富な資料をもとに熱弁を



埼玉偕行会総会

第41回埼玉偕行会総会は平成29年5月27日(土)午前10時から「さいたま市民会館うらわ」に於いて、ご来賓、講師及び会員等55名の参会をえて開催された。

埼玉偕行会会員総数は533であるが、そ

振るわれた。

先ずは厳しさを増す国外情勢として昨年から頻発するミサイルの発射実験等周辺国の情勢、いわゆる第2列島線への進出をもくろむ中国情勢、北方領土周辺におけるロシア情勢等を話された後、陸自中央指揮機能の強化を図る陸上総隊司令部の配置や機動展開能力の向上等陸上自衛隊の大改革について詳しい説明があり、質疑応答も活発に行われた。

第3部懇親会は、三浦天士氏陸自61の司会で12時から開始。先ず会長の挨拶のあと、来賓祝辞となり、偕行社副理事長深山明敏様、東部方面総監部幕僚長兼朝霞駐屯地司令陸将補高田祐一様、化学学校長兼大宮駐屯地司令陸将補吉野俊二様、自衛隊埼玉地方協力本部本部長1等空佐長谷川晃久様、公益社団法人隊友会埼玉県隊友会会長佐藤常寛様からそれぞれご祝辞をいただいた。続いて来賓の特定非営利活動法人・国民保護協力会会長宮澤作太郎様の乾杯の音頭で宴会に入り、和気藹々の中楽しいひと時が過ぎた。恒例の軍歌演習は、樋口太氏陸幼48の指揮のもと旧陸軍関係会員全員で「仰げば巍々たる」「航空百日祭」「血潮と交えし」を歌い、続いて元幹部自衛官による「この国は」「幹部候補生学校校歌」を合唱した。

会員山崎美千代氏陸自74の中締めの後、実行委員長三浦天士の謝辞をもって14時一連の行事を無事終了した。